

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201010400	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	介護マーク普及啓発事業	予算事業名	介護マーク普及啓発事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)		地域福祉活動を支援する	担当課長	友上 啓子	担当者名 富田 智美
取組み事項		福祉に対する意識の高揚を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症等の介護者			
	誰(何)を対象として	認知症等の介護者と一般市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護環境の向上を図る			

2 事業の概要 Do

実施の概要		認知症等の介護において、介護中であることを周囲の者に理解しやすくするために、介護マーク名札を配付し、介護環境の向上を図る。平成27年度よりは配布より普及啓発を重点的に行う。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	介護マーク名札配付	枚	37	15	-	-
	ポスター配布	枚	119	5	93	30
	チラシ配布	枚	448	15	-	-
	認サポ講座にて周知	回			24	25

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.016	0.026	163	0.007	27	0.008	114	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	440,322	559,981	127	397,628	71	379,310	95	
	事業費	37,106	23,600	64	13,424	57	43,000	320	
	合計	477,428	583,581	122	411,052	70	422,310	103	
財源内訳	国庫支出金	14,657	9,332	64	5,235	56	16,770	320	
	県支出金	7,328	4,661	64	2,617	56	8,385	320	
	市債			-		-		-	
	その他	7,793	4,956	64	2,953	60	9,460	320	
	一般財源	447,650	564,632	126	400,247	71	387,695	97	
	合計	477,428	583,581	122	411,052	70	422,310	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		介護マーク名札配布枚数(H27年度より統計なし)							
指標説明(式)		介護マーク名札配布枚数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
枚	目標	50	30	60.0	15	50.0		0.0	
	実績	37	15	40.5	-	-			
指標名2		介護マーク普及啓発							
指標説明(式)		認知症サポーター養成講座での介護マークの説明回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-	25	-	25	100.0	
	実績			-	24	-			

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト(H27年度より統計なし)							
指標説明(式)		事業費／配付者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	860	1000	116.3	2866	286.6		0.0	
	実績	1002	1573	157.0		0.0			
指標名2		1回の講座にかかる費用							
指標説明(式)		事業費／認サポでの説明回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	500	-	500	100.0	
	実績			-	560	-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	認知症等の介護において、介護中であることを介護マークにより周囲の者に理解しやすくするため、介護マークを配付し、認知症サポーター養成講座の中でも普及啓発できた。	4
効率性	手段の最適性	身近な場所で交付できるよう、市内の居宅介護支援事業所にも配付窓口となってもらっている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	介護マーク名札を配付することよりも、「介護マーク」の意味や存在理由を周知することが重要。今後も普及啓発に努める必要がある。	4

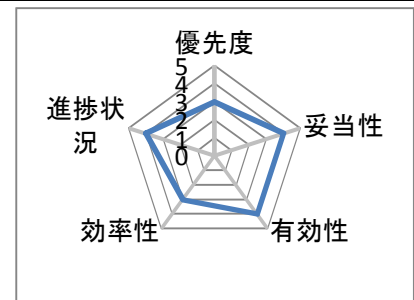
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	さらなる普及啓発に努める必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	普及啓発の方法として、単独ではなく「認知症サポーター養成講座」や「見守りSOSネットワーク事業」と合わせて周知していく。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020100		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	戦没者遺族等団体活動補助事業	予算事業名	戦没者遺族等団体活動補助事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	長棟 尚美
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		兵庫県遺徳顕彰会会則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の戦没者の遺族及び原爆被爆者					
	誰(何)を対象として	市内の戦没者の遺族及び原爆被爆者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	永遠の平和と郷土の繁栄を祈念することと併せ遺族会の活動を支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		戦没者遺族等団体の活動を支援する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	遺族会会員	人	303	274	270	270	
	原爆被爆者の会会員	人	22	0	0	0	
	遺族会総会参加者	人	60	50	63	50	
	原爆被爆者の会総会参加者	人	18	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.016		0	0.004	-	0.080	2,000	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	440,322	358,533	81	375,182	105	945,086	252	
	事業費	230,000	150,000	65	150,000	100	150,000	100	
	合計	670,322	508,533	76	525,182	103	1,095,086	209	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	670,322	508,533	76	525,182	103	1,095,086	209	
合計	670,322	508,533	76	525,182	103	1,095,086	209		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		主要行事参加者数							
指標説明(式)		相生市遺族会総会参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	60	50	83.3	63	126.0			
指標名2		主要行事参加者数							
指標説明(式)		相生・上郡原爆被爆者の会総会参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	19	0	0.0	0	-			

【効率性】

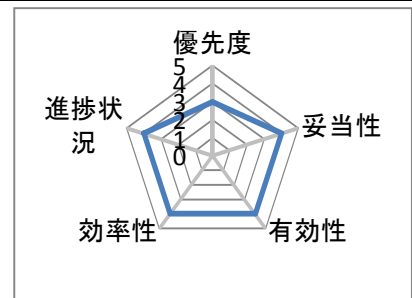
指標名1		主要行事参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		補助金÷遺族会総会参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3000	3000	100.0	3000	100.0	3000	100.0	
	実績	2500	3000	120.0	2380	79.3			
指標名2		主要行事参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		補助金÷原爆被爆者の会総会参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4000	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	4210	0	0.0	0	-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	遺族会活動の活動を支援する事業目的はほぼ達成できた。	4
効率性	コストの節減	主要事業参加者一人当たりのコストは前年度とほぼ同数である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりの事業が行われている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	会員の高齢化に伴い会員の減少が見込まれる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020200		事業の種類	3	
年度	27	事務事業名	戦没者遺族等援護事業		予算事業名	戦没者遺族等援護事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	長棟 尚美
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		兵庫県遺徳顕彰会会則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	兵庫県民(相生市民)					
	誰(何)を対象として	兵庫県民(相生市民)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	県内の戦没者及び自衛隊、警察、消防その他あらゆる分野で郷土社会に貢献のあった人々の御霊に対して慰霊と感謝の誠をささげ、永遠の平和と郷土の繁栄を祈念してその実現に寄与					

2 事業の概要 Do

実施の概要		慰霊に関する諸行事、遺徳顕彰に関する事業、遺族援護事業を行う兵庫県遺徳顕彰会に対し負担金を支出、その活動を支援する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	負担金	円	38,000	38,000	38,000	38,000
	委託料					

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.004	0.008	200	0.360	4,500	0.132	37	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	348,078	420,517	121	3,038,774	723	1,353,702	45	
	事業費	381,935	38,000	10	38,000	100	438,000	1,153	
	合計	730,013	458,517	63	3,076,774	671	1,791,702	58	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	730,013	458,517	63	3,076,774	671	1,791,702	58	
合計	730,013	458,517	63	3,076,774	671	1,791,702	58		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業数							
指標説明(式)		事業数(慰霊祭事業、広報事業、援護事業)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

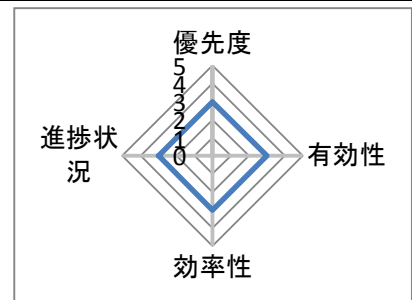
指標名1		事業費負担額							
指標説明(式)		相生市事業負担額							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	38,000	38,000	100.0	38,000	100.0	38,000	100.0	
	実績	38,000	38,000	100.0	38,000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業計画に基づき、各種事業に関する広報を実施した。	3
効率性	負担割合の適正化	負担金額は人口割等で定められている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業計画は県下各市長等で構成される評議員会を経て決定されており、計画どおり実施されている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	戦没者遺族の高齢化が進んでいるため、各種事業の広報の方法等を再考する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金を大多数が申請をしたが、残りの方についても円滑な事務処理に努める。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020300		事業の種類	3	
年度	27	事務事業名	更生保護活動補助事業		予算事業名	更生保護活動補助事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	坂本 哲弥
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		保護司法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	赤穂保護区保護司、姫路少年刑務所被収容者					
	誰(何)を対象として	赤穂保護区保護司、姫路少年刑務所被収容者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	犯罪、非行のない社会をつくる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		更生保護活動等を行う赤穂保護区保護司会、姫路少年刑務所教誨事業後援会に対して補助金、負担金を支出、その活動を支援する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	保護司(相生)	人	12	12	12	11	
	延べ教誨人数	人	612	605	616	600	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.004	0.008	200	0.004	50	0.072	1,800	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	348,078	420,517	121	375,182	89	882,222	235	
	事業費	420,000	220,000	52	220,000	100	435,000	198	
	合計	768,078	640,517	83	595,182	93	1,317,222	221	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	768,078	640,517	83	595,182	93	1,317,222	221	
合計	768,078	640,517	83	595,182	93	1,317,222	221		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		保護司(相生)							
指標説明(式)		人員							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	13	13	100.0	13	100.0	11	84.6	
	実績	12	12	100.0	12	100.0			
指標名2		姫路少年刑務所被収容者に対する教誨事業							
指標説明(式)		教誨を受けた収容者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	600	600	100.0	600	100.0	600	100.0	
	実績	612	605	98.9	616	101.8			

【効率性】

指標名1		保護司一人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費÷人員							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9,230	9,230	100.0	9,230	100.0	10909	118.2	
	実績	10000	10000	100.0	10000	100.0			
指標名2		社会を明るくする運動参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費(20万円)÷参加者(116人) 3年に1回(H25,28,31・・・)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,724	0	0.0	0	-	1724	-	
	実績	1,724	0	0.0	0	-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	少年刑務所被収容者の社会復帰後援という事業目的は達成されている。	4
	期待する目標	犯罪、非行のない社会の実現に寄与するという事業目的は達成された。	
効率性	執行体制の効率性	赤穂保護区保護司会との緊密な連携により、現在の執行体制は最適である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	更生保護事業への補助について計画どおり実行できた。	4

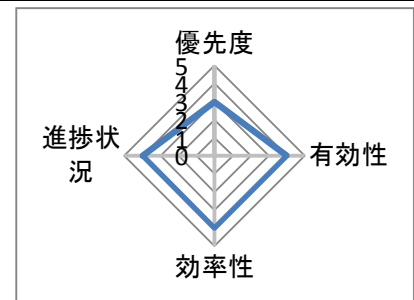
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	定年制の完全実施により、定年の退任者が見込まれるため今後後継の保護司の確保が難しくなると思われる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	社会を明るくする運動の参加団体の呼びかけを増やし、より幅広い層へ運動の浸透を図る。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020400		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	民生児童委員運営事業		予算事業名	民生児童委員運営事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	番匠 芳敬
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		民生委員法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域住民の相談及び支援者					
	誰(何)を対象として	一人暮らしの高齢者、母子家庭、児童、生活困窮者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民の生活状態を適切に把握し、被支援者に対し、適確な相談指導を行い、地域福祉の増進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		民生委員・児童委員による高齢者、障害者、児童等のいる家庭への訪問・連絡活動など地域福祉の増進を図る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	相談・支援件数	回	1,979	1,933	1,903	1,900	
	訪問・連絡活動	回	10,818	12,083	11,861	12,000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.584	0.292	50	0.152	52	0.176	116	
	臨時職員	0.120		0		-		-	
支出内訳	人件費	5,099,458	2,620,949	51	1,482,518	57	1,699,454	115	
	事業費	8,071,020	7,768,700	96	7,768,700	100	8,274,000	107	
	合計	13,170,478	10,389,649	79	9,251,218	89	9,973,454	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	4,066,980	3,974,400	98	3,974,400	100	3,974,400	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,103,498	6,415,249	70	5,276,818	82	5,999,054	114	
合計	13,170,478	10,389,649	79	9,251,218	89	9,973,454	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		一人当たり訪問回数							
指標説明(式)		訪問回数/委員数(67名)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	164	160	97.6	160	100.0	180	112.5	
	実績	161	180	111.8	177	98.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		民生児童委員一人当たりの活動費							
指標説明(式)		民生児童委員活動費/訪問回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	682	682	100.0	682	100.0	625	91.6	
	実績	693	620	89.5	632	101.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標どおりの成果があがった。	5
	市民サービス	地域における支援を必要とする方に効率的に福祉サービスが提供できた。	
効率性	執行体制の効率性	多様な相談内容・支援活動に適切に対応でき、行政等関係機関に繋ぐことができた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	民生児童委員の協力のもと、地域福祉活動の増進に貢献できた。	5

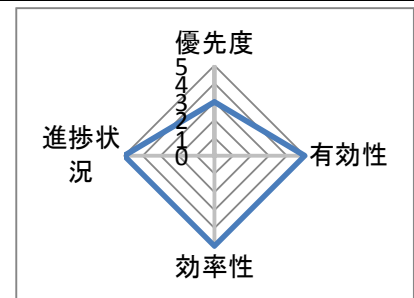
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	小地域地域福祉活動の推進(隣近所での見守り・安心活動)

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	民生児童委員協議会・自治会・社会福祉協議会との連携の強化



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020500		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	社会福祉協議会活動事業		予算事業名	社会福祉協議会活動事業(社会福祉)	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	長棟 尚美
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		社会福祉法 相生市社会福祉法人の助成に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市民					
	誰(何)を対象として	相生市社会福祉協議会の活動とその運営					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域における福祉活動の中心的役割を果たす相生市社会福祉協議会の活動を推進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		種々の社会福祉活動を展開し、地域福祉活動推進に大きな役割を果たす相生市社会福祉協議会の運営及び機能・体制維持のため補助を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	補助額	円	13,150,000	14,600,000	14,600,000	14,600,000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.036	0.036	100	0.052	144	0.052	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	594,062	637,461	107	734,318	115	725,062	99	
	事業費	13,150,000	14,600,000	111	14,600,000	100	14,600,000	100	
	合計	13,744,062	15,237,461	111	15,334,318	101	15,325,062	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	13,744,062	15,237,461	111	15,334,318	101	15,325,062	100	
合計	13,744,062	15,237,461	111	15,334,318	101	15,325,062	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市社会福祉協議会主要事業							
指標説明(式)		主要事業(活動目標数)計画数・実績							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	19	14	73.7	14	100.0		0.0	
	実績	19	14	73.7		0.0			
指標名2		社会福祉協議会法人運営事業費に占める補助金の割合							
指標説明(式)		地域福祉推進事業事業費支出決算額/補助額(3事業合計) × 100 27年度より社会福祉法人の会計基準が変更							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	15	60	400.0	65	108.3		0.0	
	実績	21.6	61.8	286.1		0.0			

【効率性】

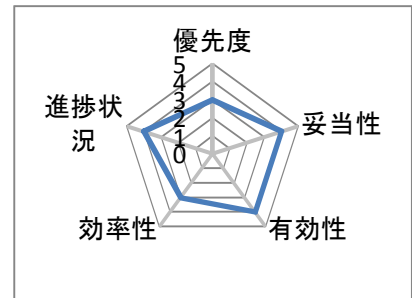
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会福祉協議会で行われる様々な福祉関連事業は計画通りに達成されている。	4
効率性	コストの節減	コスト節減に努めるべきではあるが、更なる地域福祉の増進には社会福祉協議会の役割は大きいため補助金額等は3年毎に1回見直しを行うこととしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社会福祉協議会で行われる福祉関連事業は計画通り実行されており、地域における福祉活動推進に大きく貢献している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	地域福祉を推進するため、住民のニーズを把握する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民のニーズの把握のため、各種団体へのヒアリングやアンケート調査を実施。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020600		事業の種類	3	
年度	27	事務事業名	日本赤十字社事業		予算事業名		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	番匠 芳敬
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		日本赤十字社法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市民					
	誰(何)を対象として	相生市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が世界の平和と福祉の増進のため活動を行う日本赤十字社の趣旨を理解し、全世帯が社員となり、奉仕活動の活性化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		日本赤十字社資募集(自治会を通じて募集)				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	社資額	円	4,835,580	4,818,856	4,769,860	3,060,000

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.148	0.132	89	0.118	89	0.116	98	
	臨時職員	0.040		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,552,646	1,381,269	89	1,228,130	89	1,227,974	100	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,552,646	1,381,269	89	1,228,130	89	1,227,974	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,552,646	1,381,269	89	1,228,130	89	1,227,974	100	
	合計	1,552,646	1,381,269	89	1,228,130	89	1,227,974	100	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		日本赤十字社事業							
指標説明(式)		社資募集実績							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3,060,000	3,060,000	100.0	3,060,000	100.0	3,060,000	100.0	
	実績	4,835,580	4,818,856	99.7	4,769,860	99.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

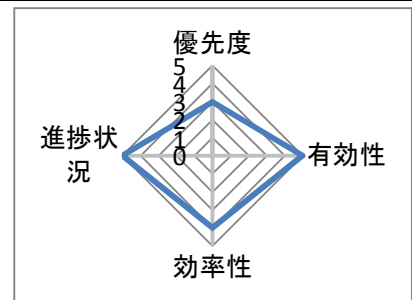
指標名1		県割り当て目標達成率							
指標説明(式)		社資実績額÷県目標額(3,060,000円)×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0		0.0	
	実績	158	157	99.4	156	99.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社資について、単位自治会の協力により目標を大きく上回る額を募集することができた。	5
効率性	手段の最適性	自治会の協力により「理解と共感による納得」に基づく赤十字社員の募集が行えた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社資募集について毎年、県の目標額を大きく上回る成果をあげている。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	日赤活動、奉仕団活動の周知と災害時に備えた訓練実施。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	災害時に備えた訓練の実施。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020201030100		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	住みよい福祉のまちづくり事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長		担当者名	
取組み事項		ユニバーサル社会づくりを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		バリアフリー新法、ひょうごユニバーサル総合指針、兵庫県福祉のまちづくり条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	主に障害者・高齢者					
	誰(何)を対象として	主に障害者・高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害のある人もない人も誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインのまちづくりを目指す					

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害のある人の活動の場や行動範囲を広げ、自由な社会参加を促進するために、障害の理解を深めるとともに、人々の意識に関わる障壁などを取り除く。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	福祉のまちづくり条例申請件数	件	1	2	0	1	
	福祉のまちづくり条例適合証交付件数	件	0	0	0	0	
	ゆずりあい駐車場看板設置	箇所	0	0	0	0	
	ゆずりあい駐車場利用証交付件数	件	71	58	76	70	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.008	0.060	750	0.060	100	0.080	133	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	378,826	823,413	217	794,174	96	945,086	119	
	事業費			-		-		-	
	合計	378,826	823,413	217	794,174	96	945,086	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	378,826	823,413	217	794,174	96	945,086	119	
	合計	378,826	823,413	217	794,174	96	945,086	119	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		適合証交付率							
指標説明(式)		適合証交付件数÷まちづくり条例申請件数×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		利用証交付件数1件当たりの費用							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷交付件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5359	5335	99.6	12909	242.0		0.0	
	実績	5335	14196	266.1	10449	73.6			

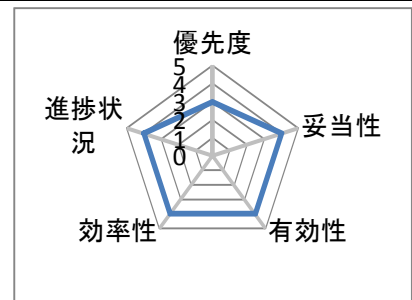
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	兵庫県が実施する兵庫ゆずりあい駐車場制度の申請事務等を効果的に行うことができ、申請者へのサービス向上が図られた。	4
	市民サービス	障害者等が障害者用駐車場枠への駐車がしやすくなり、利便性の向上が図れ、外出機会の向上につながった。	
効率性	コストの節減	利用証等は県が作成しているので事業経費は発生しない。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正に事務が執行されている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	障害者の外出機会促進を図るために制度の周知に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	窓口及び広報等での制度の周知方法を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201030200		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	地域自殺対策緊急強化事業		予算事業名	地域自殺対策緊急強化事業 優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	炭田 哲也
取組み事項		ユニバーサル社会づくりを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		自殺対策基本法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	心身の疾患などの健康問題や多重債務などの経済的問題、仕事のこと等で悩み、自殺を考えている人					
	誰(何)を対象として	市民の自殺に対する意識					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民一人ひとりが自殺に対する意識を高め、心の健康やうつ病に対する理解を深めることにより、気づきや傾聴の大切さを知り、自殺を未然に防止することができる社会をつくる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		自殺対策に関する講座の開催、啓発用のぼり旗や横断幕の掲示による一般市民への啓発及び市職員や民生児童委員、病院、施設職員等を対象としたゲートキーパー研修を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	こころの健康づくり講演会	人	130	119	102	150	
	街頭キャンペーン	人	600	600	600	600	
	相生市自殺予防対策研修	人	53	44	48	60	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.192	0.160	83	0.144	90		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,793,234	1,598,213	89	1,422,662	89	316,446	22	
	事業費	325,960	461,640	142	181,284	39		0	
	合計	2,119,194	2,059,853	97	1,603,946	78	316,446	20	
財源内訳	国庫支出金	0		-	0	-	0	-	
	県支出金	323,000		0	105,000	-	105,000	100	
	市債	0		-	0	-	0	-	
	その他	0		-	0	-	0	-	
	一般財源	1,796,194	2,059,853	115	1,498,946	73	211,446	14	
	合計	2,119,194	2,059,853	97	1,603,946	78	316,446	20	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		自殺死亡者数							
指標説明(式)		自殺死亡者数(前年度比10%減を目標)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5	9	180.0	5	55.6	5	100.0	
	実績	10	6	60.0	5	83.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		自殺対策啓発講演会							
指標説明(式)		自殺対策啓発講演会受講者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	180	180	100.0	150	83.3	150	100.0	
	実績	130	119	91.5	102	85.7			

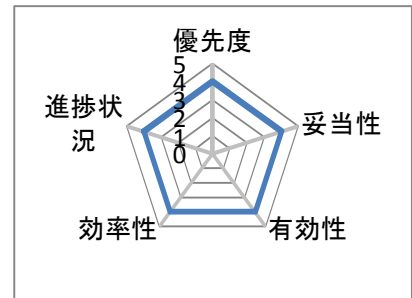
指標名2		自殺予防対策(ゲートキーパー)研修							
指標説明(式)		自殺予防対策(ゲートキーパー)研修受講者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	70	70	100.0	70	100.0	60	85.7	
	実績	53	44	83.0	48	109.1			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	自殺者数は前年度より減少している。	4
	市民サービス	自殺未遂者の支援活動を行っている講師を招き講演会を開催し、自殺未遂者の心情や傾聴の仕方など、市民にとって重要な自殺防止に関する情報を提供することができた。	
効率性	負担割合の適正化	10/10から補助率が3/4、1/2に減少し、事業に対する負担が増加した。今後も補助率が下がることも予測されるため、事業の見直し等が必要。	4
	執行体制の効率性	自殺対策の必要性や重要性を、もっと広く市民に伝える必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	より多くの人に自殺予防の必要性を伝えるため、研修会、講演会、啓発活動を充実させる必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	自殺を身近な問題と認識してもらえるように研修会、講演会、啓発活動を継続して実施する。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201040100		事業の種類	3	
年度	27	事務事業名	総合福祉会館管理運営事業		予算事業名	総合福祉会館管理運営事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	立花 大地
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		総合福祉会館改修事業		総合福祉会館改修			
根拠法規及び関連法規		相生市立総合福祉会館の設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身障害者の福祉、市民の健康づくり、勤労者の福祉及び産業振興等地域福祉活動が増進される					

2 事業の概要 Do

実施の概要		心身障害者の福祉、市民の健康づくり、勤労者の福祉及び産業振興等地域福祉活動の拠点となる総合福祉会館を管理運営する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	利用人数	人	77,650	62,605	79,194		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.160	0.120	75	0.064	53	0.064	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,547,250	1,288,293	83	824,102	64	819,358	99	
	事業費	21,678,890	21,641,069	100	19,451,336	90	23,863,000	123	
	合計	23,226,140	22,929,362	99	20,275,438	88	24,682,358	122	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,469,079	896,275	61	1,357,608	151	2,578,000	190	
	一般財源	21,757,061	22,033,087	101	18,917,830	86	22,104,358	117	
合計	23,226,140	22,929,362	99	20,275,438	88	24,682,358	122		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	90,000	80,000	88.9	70000	87.5	70000	100.0	
	実績	77,650	62,605	80.6	79194	126.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		人数当りのコスト							
指標説明(式)		総経費／利用人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	255	282	110.6	310	109.9	300	96.8	
	実績	299	366	122.4	245	66.9			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用人数は減少傾向にあったが、27年度については利用者増となっており、地域福祉活動拠点として一定数の利用者は見込める	4
	市民サービス	市民、福祉団体の福祉活動拠点として十分機能している	
効率性	コストの節減	空調設備の適正な使用を推奨し、高熱費等のランニングコスト削減を継続する	4
	執行体制の効率性	問題なし	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域福祉活動拠点としての機能は十分果たしている	4

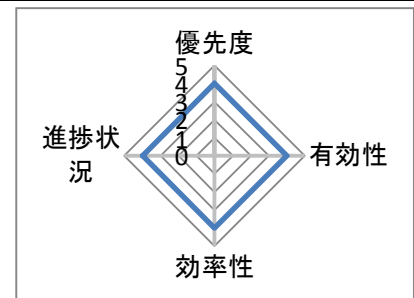
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	地域福祉活動拠点としての機能を維持できるよう計画的な維持修繕を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	維持修繕計画に基づき、設備等の維持修繕を実施する。必要に応じ随時適切な修繕を実施。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201040200	事業の種類	2
年度	27	事務事業名	老人いこいの家等管理事業	予算事業名	老人いこいの家等管理事業 優先度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)		地域福祉活動を支援する	担当課長	友上 啓子	担当者名
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る	実施計画への記載		丸山 由紀子
実施計画事業名		主要事業の指定			
根拠法規及び関連法規		相生市老人いこいの家の設置及び管理に関する条例 相生市立矢野あいあいセンターの設置及び管理に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者や障害者等			
	誰(何)を対象として	在宅高齢者や障害者等			
	意図(どのような状態にしたいのか)	教養の向上やレクリエーション等の場を与え、高齢者等の心身の健康の増進を図り福祉の増進に寄与する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		教養の向上やレクリエーション等の場の供給				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	利用人数	人	7459	8939	8175	8500

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.119	0.120	101	0.090	75	0.010	11	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,232,083	1,288,293	105	1,018,634	79	395,026	39	
	事業費	2,488,001	4,670,549	188	2,924,517	63	2,916,000	100	
	合計	3,720,084	5,958,842	160	3,943,151	66	3,311,026	84	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,720,084	5,958,842	160	3,943,151	66	3,311,026	84	
合計	3,720,084	5,958,842	160	3,943,151	66	3,311,026	84		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	10000	10000	100.0	10000	100.0	8900	89.0	
	実績	7459	8939	119.8	8226	92.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		利用人数あたりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費(人件費含む)/利用人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	381	588	154.3	416	70.7	372	89.4	
	実績	499	667	133.7	358	53.7			

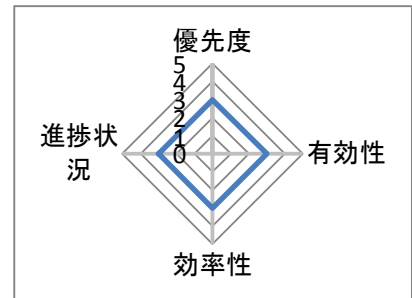
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢者のレクリエーション等生きがいがづくりの場として、また地域住民のきずなを深める場として有効であるが、各施設の利用人数は減少している。	3
	組織運営・適正管理	那波野地域福祉活動センターと古池自治会館は、平成20年度より指定管理者による管理に移行。賃館業務を伴わない矢野あいあいセンターと老人いこいの家はそれぞれ矢野自治会と高年クラブ連合会に管理委託した。	
効率性	執行体制の効率性	那波野地域福祉活動センター及び古池自治会館については、H20より指定管理者制度を導入し経費節減を図りつつ有効利用の促進に努めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	利用者の増加を図り、事業目的を達成するように努める。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	各施設とも老朽化が進んでおり、施設の維持修繕にコストがかかる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	利用者の増加を目指し、周知を図る。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201040300	事業の種類	2
年度	27	事務事業名	老人福祉センター管理事業	予算事業名	老人福祉センター管理事業 優先度 ー
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)		地域福祉活動を支援する	担当課長	友上 啓子	担当者名 丸山 由紀子
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市立老人福祉センター条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者			
	誰(何)を対象として	在宅高齢者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康の増進、教育の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		機能を生きがい交流センターに移管し、現在休止届を出している				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.016		0	0.014	-	0.010	71	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	440,322	358,533	81	450,002	126	395,026	88	
	事業費	181,303	181,303	100	164,359	91	165,000	100	
	合計	621,625	539,836	87	614,361	114	560,026	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	621,625	539,836	87	614,361	114	560,026	91	
合計	621,625	539,836	87	614,361	114	560,026	91		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

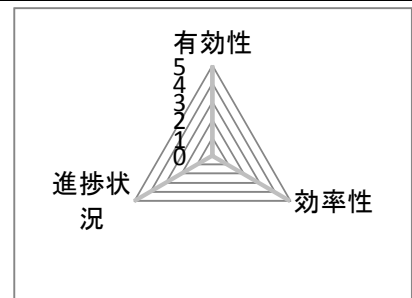
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	現在休止中	
	組織運営・適正管理	現在休止中	
効率性	コストの節減	現在休止中	
	執行体制の効率性	現在休止中	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	現在休止中	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	土地の賃借料は支払しており、撤去の決定の検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201040400		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	生きがい交流センター管理運営事業		予算事業名	生きがい交流センター管理運営事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市生きがい交流センターの設置及び管理に関する条例 相生市高齢者生きがいと健康づくり推進事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者						
	誰(何)を対象として	生きがいと健康づくり						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の文化的活動のための場の提供と高齢者の教養と健康づくりの為にセミナー開催。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者の教養の向上と健康づくりのためのセミナー及び市民の文化活動の場を提供する。						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	一般利用者数	人	17,975	21790	20638	21000		
	生きがいセミナー出席者	人	1,925	1993	2021	2025		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員		0.101	-	0.124	123	0.104	84	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	317,330	1,141,081	360	1,273,022	112	1,133,678	89	
	事業費	9,169,948	9,326,348	102	8,950,683	96	9,399,000	105	
	合計	9,487,278	10,467,429	110	10,223,705	98	10,532,678	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,487,278	10,467,429	110	10,223,705	98	10,532,678	103	
合計	9,487,278	10,467,429	110	10,223,705	98	10,532,678	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		一般利用者数(セミナー参加者除く)							
指標説明(式)		一般利用者数(セミナー参加者除く)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	19,000	19000	100.0	22000	115.8	21000	95.5	
	実績	17975	19797	110.1	18617	94.0			
指標名2		生きがいセミナー出席者数							
指標説明(式)		生きがいセミナー出席者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1950	1950	100.0	2000	102.6	2025	101.3	
	実績	1925	1993	103.5	2021	101.4			

【効率性】

指標名1		利用者一人あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数(一般利用者+生きがいセミナー出席者数)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	407	455	111.8	393	86.4	408	103.8	
	実績	461	392	85.0	434	110.7			

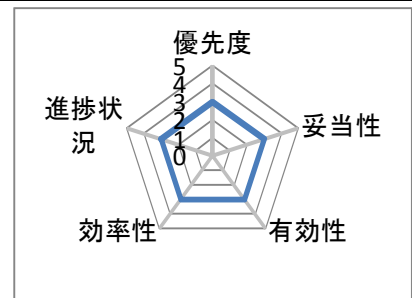
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	利用者へのアンケート調査等の実施により、利用者ニーズにあった講座を開催しており、教養の向上と健康の増進、また閉じこもりの防止にも貢献している。	3
効率性	コストの節減	指定管理者制度の導入により、低コストで高サービスの運営に努めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	年間利用者数は減少したが、セミナー参加者は増加しており、今後も高齢者へのニーズ調査等による状況把握を行っていく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	アンケート調査の実施によるニーズ把握に努めるとともに、施設の周知を図る。

配点	32.5
総合評価	19.5